

平成 29 年度事業報告書

公益財団法人ふるさといわて定住財団

平成 29 年度は、国内、県内とも景気は緩やかな回復基調が続き、債券利回りは日銀の大規模な金融緩和政策により低水準で推移した。

県内の雇用情勢は、有効求人倍率が 4 月に 1.4 倍を超えてから年度を通じて同程度の高い水準を維持して推移した。県内の平成 30 年 3 月卒の大学生の就職内定率は 3 月末現在 96.4% と前年同期より 0.7 ポイント上昇しているが、県内就職者の割合は 43.6% と前年同期より 1.4 ポイント下回っている。(30 年 4 月 27 日岩手労働局発表)

平成 29 年 6 月に公表された「平成 29 年度岩手県の若年者雇用動向調査」(岩手で働く推進協議会実施) によれば、「岩手県出身者の地元志向は強いが、岩手県内企業の知名度は低い」とされている。

財団が主催した平成 29 年度の就職面接会等は、次表の通り、企業の参加数が前年度より若干増えているのに対して、学生等求職者の参加者数は減少している。求職者側のいわゆる「売り手市場」であること、内定早期化、県内企業の知名度が低いことが背景にあると考えられる。

(面接会等参加企業・参加学生等推移)

	ガイダンス 企業 学生等	面接会 I 企業 学生等	面接会 II 企業 学生等	面接会 III 企業 学生等	面接会 IV 企業 学生等	U・I 企業 学生等	U・I 企業 学生等	合計 企業 学生等
28 年度	153 634	158 283	151 210	132 186	107 163	52 120	66 137	819 1,733
29 年度	156 442	153 247	155 192	144 139	107 136	54 70	61 136	830 1,362
差	+3 -192	-5 -36	+4 -18	+12 -47	0 -27	+2 -50	-5 -1	+11 -371

法人運営では、資産運用規程の見直しをするとともにより金利の高い債券への乗り換えなど適切な資産運用に努めた。また、労働契約法改正に対応し、職員の雇用契約を見直し就業規程の改正を行った。

1 若年就職希望者の県内定着の促進(公益目的事業:予算額 23,565千円)

(1) 学生と県内企業との出会いの場づくり

平成30年3月新規大卒者等を対象に、いわて就職ガイダンスを開催した。参加者数は前年度より193人減少した。

▽今年度の開催状況

() 内は前年度の実績

回	事業名	期日・場所	参加企業	参加者
1	いわて就職ガイダンス	平成29年4月8日(土) 産業文化センターアピオ	156 (153)	442 (634)
2	岩手県U・IターンフェアⅡ(面接会併催)	平成30年3月4日(日) 秋葉原UDXギャラリー	61 (66)	136 (137)

(2) 就職活動への支援

平成30年3月新規大卒者等を対象にいわて就職面接会を4回開催した。各回とも前年度の参加者数を下回った。今年度は、就職活動期間の終盤にあたり参加者の減少を見越し面接会Ⅳの会場を狭いが立地条件の良いホテルメトロポリタン盛岡NEW WINGに変更して開催したが、この時期にしては未だ人材確保が充分でない企業が多く、結果としてキャンセル待ちの企業が30社以上に上った。

▽今年度の開催状況

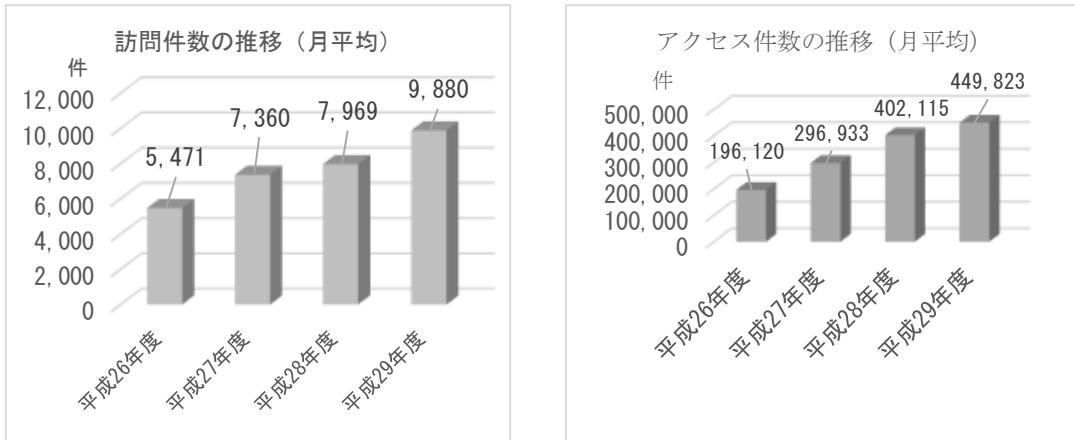
() 内は前年度の実績

回	事業名	期日・場所	参加企業	参加者
1	いわて就職面接会Ⅰ	平成29年6月2日(金) 産業文化センターアピオ	153 (158)	247 (283)
2	いわて就職面接会Ⅱ	平成29年7月19日(水) 産業文化センターアピオ	155 (151)	192 (210)
3	いわて就職面接会Ⅲ	平成29年9月14日(木) 産業文化センターアピオ	144 (132)	139 (186)
4	いわて就職面接会Ⅳ	平成29年11月28日(火) ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING	107 (107)	136 (163)

(3) 就職支援情報の提供

① 就職支援システムによる提供

平成27年11月にリニューアルした就職支援システムは、登録企業数、ウェブサイトのアクセス数ともに前年度から増加している。



※訪問件数：当財団のホームページを閲覧した延べ回数（人、回）

※アクセス件数：ホームページ中の閲覧された延べページ数（人、回、ページ）

◇登録企業数（3月末現在） 846社（792社）

◇4~3月新規登録企業数 99社（109社）

◇4~3月ウェブサイト閲覧数

・訪問件数 月平均 9,880件（前年度同期 7,969件）

・アクセス件数 月平均 449,823件（前年度同期 402,115件）

県からの要請があった「働き方改革」の見える化やインターンシップ取組企業の見える化など、企業の情報発信力強化につながるシステム改修を平成30年度当初から稼働できるよう準備作業を行った。

② 就職応援紙「Défi」の発行

11月と1月に発行し、県内、東北管内及び首都圏の学校、関係機関などに送付した。掲載内容は、当財団で開催しているイベントの紹介や開催結果、ウェブサイトの利用方法、イベント開催日程などである。

③ 広報活動の展開

開催するイベントごとにポスター・チラシを作成し、北海道から首都圏までの学校、関係機関などに配布したほか、交通広告としてJR、IGRの駅にポスターを掲示している。また、岩手日報及び盛岡タイムスにも広告掲載した。

シゴトバクラシバいわて、ふるさと回帰支援センター及びJOIN（一般社団法人移住・交流推進機構）のウェブサイトに広告掲載した。

④ 就活ガイドブックの発行

平成30年3月新規大卒者等向けに就活ガイドブックを作成した。内容は就職面接会への臨み方、求人情報の見方、ウェブサイトの活用方法である。

（4）関係機関との連携

いわてで働く推進協議会のほか、県、市町村、関係機関などと連携して岩手県

内就職への支援に積極的に取り組んだ。

当財団の就職面接会や U・I ターンフェアには、市町村や関係機関がブースを出展して移住定住相談や就職相談を実施した。他団体が各地域で開催している就職面接会等についても、情報提供がある都度、ホームページに情報を公開した。

いわてで働く推進協議会が主催した 9 月 2、3 日の「いわてとワタシゴト展」、岩手大学 COC 推進室等が開催した 11 月 19 日の「ふるさと発見!大交流会 in Iwate2017」にブース出展した。また、2 月 12 日にグローカル人材育成推進協議会が初めて開催した「グローバルキャリアフェア in いわて」については、イベントの運営支援を行った。

2 県外からの U・I ターンの促進（公益目的事業：予算額 6,130 千円）

（1）U・I ターンフェア（東京都）の開催

U・I ターンフェア I の参加者は 70 人で、前年度に比べ 50 人減少した。大学生の夏休みであったことや平日開催であったことが減の要因と考えられる。

U・I ターンフェア II の参加者は 136 人で、前年度に比べ 1 人減少にとどまった。

開催状況 （ ）内は前年度の実績

回	事業名	開催日・場所	参加企業	参加者
1	U・I ターンフェア I	平成 29 年 8 月 30 日（水） 秋葉原 UDX ギャラリー（東京都）	54 (52)	70 (120)
2	U・I ターンフェア II	平成 30 年 3 月 4 日（日） 秋葉原 UDX ギャラリー（東京都）	61 (66)	136 (137)

（2）U・I ターン支援対策の充実

県、県外事務所、U ターンセンター、いわて暮らしサポートセンター、市町村、県人会、首都圏の大学等と連携を図りながら U・I ターンの促進に取り組んでいる。

U・I ターン応援企業の登録は、3 月末現在 538 社（前年度同期 436 社）となって いる。

（3）U・I ターン希望者への個別支援

U・I ターン希望者に対して、求人情報をはじめ、住宅、学校、病院などの情報を 提供している。現在のフォロー登録者数は 183 人で、平成 26 年度の開始以来少なくとも 21 人が移住を実現している。

3 出稼ぎ就労者の援護（収益事業：予算額 2,975 千円）

（1）傷病等事故見舞金の給付

互助会員が出稼ぎ中に災害若しくは病気で死亡又は休業したときなどに見舞金を 給付しているが、29 年度は傷病見舞金を 5 件給付したものの、死亡見舞金については、発生していない。

▽傷病等事故見舞金の給付状況(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

給付の種類	件数	給付金額
死亡見舞金	0	
傷病見舞金	5	320,000 円
重度障害見舞金	0	
火災見舞金	0	
治療証明書交付手数料	(3)	5,080 円
遺族旅費	(0)	
賃金立替金	0	
計	5	325,080 円

▽傷病等事故見舞金の具体的内容

出身地	性別	年齢	職業	原 因	種類	支給月
久慈市	男性	67	建築業	体調不良により受診したところ直腸癌で入院	傷病見舞金	4 月
陸前高田市	男性	68	大工	健康診断の結果を受けて受診したところ前立腺肥大症で入院	傷病見舞金	8 月
花巻市	男性	66	酒造工	荷卸しの昇降機から落下し骨折のため入院	傷病見舞金	11 月
陸前高田市	男性	65	建設業	腰の痛みにより受診したところ椎間板ヘルニアで手術入院	傷病見舞金	12 月
洋野町	男性	62	大工	工事現場で足場から落下し骨折のため入院	傷病見舞金	12 月

(2) 「出稼ぎの葉」の発行

互助会員が健康で安全な出稼ぎができるように、病気や災害防止の心得などを掲載した「出稼ぎの葉」を 1 月に発行した。

(3) 出稼ぎ関係情報の提供

出稼ぎに関する統計や市町村の事業などを掲載した「岩手県における出稼ぎの実態」を県と共同編集して 9 月に発行し、市町村等に配付した。

(4) 「健康で安全な出稼ぎ推進月間」及び「出稼ぎ互助会加入促進月間」

健康で安全な出稼ぎと互助会への加入促進のため、県、労働局と共に 10 月の出稼ぎ推進月間に合わせて啓発用ポスター、チラシを作成し、市町村等に配布した。

4 法人の運営 (法人会計：予算額 7,110 千円)

(1) 法人運営の概要

① 適切な資産運用

日銀が導入したゼロ金利政策のため低金利が続いているが、外貨定期預金の解約に伴う新たな債券の購入や、償還前の債券についてもより利息の高い債券への乗り換えなど機動的な運用を行った。また、適切なリスク管理や弾力的な運用の観点から 10 月に資産運用規程の改正を行った。

資産運用の状況は別添（9,10 ページ）のとおりであるが、債券価格の上昇により基本財産、運用財産とも評価額が向上し、全体として約 4,000 万円弱の評価益が生じた。

② 計画的、効率的な事業の運営

「いわて県民計画」第 3 期アクションプラン（平成 27 年度～平成 30 年度）に基づく県出資等法人に係る中期経営計画書（平成 28 年 3 月作成）を当財団のマスター・プランとして位置づけ、計画的、効率的な事業運営に取り組んだ。

③ 県との連携

事業の展開に当たっては、県（雇用対策・労働室）の施策の方向と認識を共有するため隨時に連絡、協議の場を持つなど連携を密にしているほか、イベントの運営にも隨時協力を得ている。

U・I ターンの促進については、県、市町村、民間団体の推進組織「いわて定住交流促進連絡協議会」と隨時連携を図っている。

また、県産業振興センター（プロフェッショナル人材戦略拠点）、県ものづくり自動車産業推進室、県林業技術センター等と情報共有している。

(2) 理事会運営

① 第 1 回目

平成 29 年 5 月 17 日開催 場所：ホテルエース盛岡

主な議題：平成 28 年度の事業・決算の承認、事務局長選任、定時評議員会の招集決定

② 第 2 回目

平成 29 年 10 月 31 日開催 場所：ホテルエース盛岡

主な議題：資産運用規程の一部改正、上半期の業務・職務執行状況報告、講演（岩手県立大学学生支援本部教授本部長 似鳥徹氏）

③ 第 3 回目

平成 30 年 3 月 16 日開催 場所：エスポワールいわて

主な議題：平成 30 年度の事業計画・収支予算の承認、ソフトウェア資産に関する設備投資の承認、下半期の業務・職務執行状況報告

(3) 評議員会運営

定時評議員会

平成 29 年 6 月 8 日開催 場所：ホテルエース盛岡

主な議題：平成 28 年度の事業・決算の承認、理事、評議員の選任、平成 29 年度事業計画・予算・報告